

TOVATEC 防水 USB ビデオライト

T1500V

このたびは、TOVATEC 製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。ご使用前に下記の説明・注意等をお読み正しく安全にお使いください。また、今後の参考のために大切に保管してください。

●パッケージ内容： 防水 USB ビデオライト、持ち運び便利なコンパクトケース、USB ケーブル

リチウムイオン電池 18650 (PSE 付)、予備 O リング、ストラップ

●1500 ルーメン ●照射角度 120 度 ●水深 100m 防水機能 ●色温度 5000～7000K ●SST40 LED

●サイズ： 電池なし/電池あり重量 (約 125g/170g)、全長 (148mm)×直径 (28mm)

●電池残量分かるカラーインジケータースイッチ： 緑→フル残量、黄色→ハーフ残量

赤→ロー残量→切れる前に赤点滅します

●スイッチ操作/点灯時間

フルパワー(1 回オン)→1.25 時間、50 パワー(2 回オン)、SOS (3 回オン)

●ライトは水中使用のみです。陸上では使用できませんのでご注意ください。

●電池を充電する際は+極からライト本体内に入れて電池を入れたまま充電します。電池を正確な方向 (+極-極)へ入れるようご注意ください。充電時間は約 3～4 時間です。

本体の底部のキャップを外します→USB ケーブルを充電スロットへ差し込みます→充電中は LED が赤くなります→充電が終わると LED が緑に変わります→充電後は USB ケーブルを外し、キャップをしっかりと締めてください。注意：12 時間以上 USB ケーブルを差し込んだままの状態は避けてください。

●別売りのアダプター(1000/1500 Light Adapter)もご利用ください。

メンテナンス：

●毎回使用後に真水でライト本体・スイッチ部分をきれいに洗い、洗浄後はよく乾燥させ、風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管して下さい。

●ライトが長持ちするように O-リングのグリスアップも定期的に行って下さい。塗る量は多くても少なくても水没の原因になることがありますので、適量を均一に塗って下さい。また、O-リングが変形している時や変質(硬化、軟化、膨潤など)した時、O-リング表面にキズ、クラックが入った時は交換して下さい。O-リングに髪の毛、ゴミ、砂などが付着すると水没の原因になりますのでご注意下さい。

ライト・電池使用注意/警告： 間違った使い方をすると水没、発熱、液漏れ、破裂、発火等を起こす恐れがあり、また点灯不良や点灯時間にも影響がありますので十分にご注意ください。

- A) ●高温環境下で長時間は使用しないでください。●使用しない際や輸送中は電池をライトから取り出してください。●水没を防ぐためにご使用前は毎回キャップをしっかりと締めてください。●ライトを目に向けしないでください。●ライト本体の分解や改造はしないでください。
- B) ライトを落としたり、ぶついたり、衝撃を与えたりするとライトの故障や点灯不良の原因となる場合がありますので、ご注意下さい。
- C) ナイトダイビングにライトを使用する際は、安全面を考慮して、予備のライトを持つことをお勧めします。
- D) 室温(摂氏 20～25 度、華氏 68～77 度)の涼しく乾燥した場所で保管してください。
- E) 長期間使用しない場合はフル充電後に約 1 時間使用(約 40%)して、電池を取り出し涼しく乾燥した乳幼児の手の届かない所で保管し 3 ヶ月おきに充電してください。
- F) ●濡れた手でリチウムイオン電池に触れたり、誤って水がかからないようにご注意下さい。●リチウムイオン電池が完全に放電するのは避けてください。安全上、ライトが消えた後もライト内に電池を放置したことから完全に放電されたリチウムイオン電池や数ヶ月間放電された状態のリチウムイオン電池は再充電しないでください。●充電済みのリチウムイオン電池にくり返し充電(過充電)しないでください。●容量が残っている状態で充電を繰り返し行った場合、メモリー現象が発生してパワーゲージの正確さが減少しますので、30 回充電を繰り返した後は、パワーゲージが再校正するために電力が完全になくなる前(ライトが消える時)まで使用して、再充電することをお勧めします。ライトが消えた後も電力は多少残っています。
- G) ●可燃性物の近くでリチウムイオン電池を充電しないでください。●充電は必ず目の届く場所で行ってください。●充電する際は、電池を正確な(+極-極)方向へ入れてください。●ライトに電池を入れる際は+極から入れてください。入れた後は、水没を防ぐためにしっかりと締めてください。●リチウムイオン電池は TOVATEC 社の電池(3.7V 2600mAh 9.62Wh)をお勧めします。
- H) 使用後の電池を処分・リサイクルする際は市町村によってごみの捨て方が異なりますので、その指示に従ってください。電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。電池の分解や改造はしないでください。電池は火中に投入しないでください。電池を火中に投入すると、破裂や発火し非常に危険です。

※ライトと電池の正しい取り扱いをご理解の上、安全面を一番に考慮しながらお楽しみください。